

2022年4月26日

福岡県知事 服部誠太郎 殿

日本共産党福岡県議会議員団
高瀬菜穂子
立川 由美

旦過市場の大規模火災についての要望

去る2022年4月19日に発生した北九州市小倉北区魚町の旦過市場火災は、焼失見込み面積約1600㎡、110軒中42軒が被災するという大規模なものとなった。「北九州の台所」として観光名所にもなり、市民に親しまれている市場であることから、早期の復旧が望まれる。北九州市においてプロジェクトチームが結成され、県も連携して支援を行うとのことであるが、再開発事業が開始されたばかりのところであり、事業者に寄り添った対応が求められる。

被災した商店からの聞き取りでは、「がれきの撤去が自己負担となっており困っている」「電線の復旧に1件当たり40万円もかかるといわれた」「早くがれきを撤去して、元の場所で仮店舗をつくりたい」「商売の見通しが立たず、出費ばかりがかさむ」などの声を聞いている。また、被災しなかった商店からは、「一緒にやってきた仲間が泣き崩れているのを見て声もかけられない。商売を始めていいのかと考えてしまう」など同様に悲痛な声があった。

県としても、北九州市と連携し、被災者に寄り添った最大限の支援をお願いするものである。

- 1, がれき撤去については、丹波篠山の市街地火災で国・県が補助を行った実績がある。撤去費用の公的支援を行うこと。
- 2, 事業再開のための融資を速やかに行うこと。
- 3, 神岳川は、2級河川紫川の支流であり、現在、橋の架け替えなどが北九州市によって進められている。市の管轄とはいえ、県管理の2級河川流域であり、河川整備について協力できるところは連携して対応すること。

以上